

大里小だより

1月号

令和5年1月23日

新しい年が皆様にとって良い年となりますように

今年の干支は🐇です。卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期に、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴になるそうです。みんなが、そうなるといいですね。

芽を出すと言えば、どんな種を去年のうちにまいたんだっただかなあ？ あらら、大変です。今からでも遅くないですよ、早々にいろんな種をまいておきたいと思います。

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

本年度はアンケート用紙を配付・回収するのではなく、ウェブでアンケートを実施しました。PTA数137のうち、111件の回答をいただきました。また、アンケート項目が、昨年度とは少し変わっていることにお気づきになられたでしょうか。学校が大事にしたいことが、どれだけ浸透しているかを確かめるためのアンケートですので、年度によって変更を加えています。この紙面では、その集計結果をお知らせするとともに、学校が大事にしていることを改めて説明します。

【学年ごとに決まった時間、家庭学習をしている】

保護者の67.5%が、3～6年生児童は86.4%が肯定的回答をしていました。

【家で自主学習をしている】

保護者の61.5%が、3～6年生児童は74.9%が肯定的回答をしていました。

親子でずれがありますが、保護者のみなさん、児童が使っている「予定帳〇」を見ると確かめられます。宿題の内容とかかった時間を記録するようになっています。宿題をして余った時間は、自主学習（※読書を含む）をします。自主学習の内容とかかった時間も記録するようになっています。お子さんが頑張っていることを確かめて、ぜひほめてやってください。励みになります。

【家で読書をする】

保護者の56.7%が、3～6年生児童は67.4%が、1・2年生児童は75.5%が肯定的回答をしていました。1・2年生では、宿題をして余った時間は読書をすることを薦めています。3～6年生は自主学習の内容に読書を含めています。そのため、学校図書館の利用を促し、家に持ち帰る本があるようにしています。学年によって、児童同士でおすすめの本

を紹介し合ったり、教師が読み聞かせをしたり国語で学んだ作家の他の本を紹介したりして、本に興味を持つように工夫した取組をしています。多くの児童に家庭での読書習慣がつくことをめざして、今後も取組を進めていきます。

ちなみに、「学校で本を読む」と回答した児童は、1・2年生で98.1%、3～6年生で80.3%いました。多くの児童が読書に親しんでいますが、学校ではじっくりと本を読める時間は短いと思いますので、家でこそ、じっくりと本を読んでほしいと思っています。

【テレビやゲームの時間にルールがある】

保護者の71.1%が、3～6年生児童は81%が、1・2年生児童は81.1%が肯定的回答をしていました。(※「ルールは必要ない」が4%)

すでに学校だより11月号でお伝えしたことですが、親も自分自身にルールを定めて守っていますか。親子で確認をしてみてください。ルールの必要性を自覚し、自分でルールを決めて守れる子は伸びます。

次の項目は、学校運営協議会で保護者・地域・学校の三者で共有した三つの願いに関わるものです。

【自分の思いや考えを話せる】

保護者の82.9%が、3～6年生児童は83.7%が、1・2年生児童は64.1%が肯定的回答をしていました。児童には、他者と違うことを恐れ、同調する傾向があります。それが、低学年には色濃く表れているのだと思います。自分の思いや考えを話せたことをほめ、違って当たり前、違いがあるからこそいいんだということをわかっていくように取り組んでいます。

【安全に登下校できている】

保護者の90.1%が、3～6年生児童は92.6%が、1・2年生児童は92.4%が肯定的回答をしていました。各通学班の担当者が定期的に班長等に聴き取りをして、学校でも指導しています。保護者のみなさんも、気になることがあったらその時にご指導ください。教えてくださいましたら、学校でも再度指導します。連絡を取り合ってください。

【学校は子どもたちが体験や経験から学ぶことを大切にしている】

保護者の94.6%が肯定的回答をしていました。

【いろんな体験や経験を進んでしている】

3～6年生児童の88.5%が、1・2年生児童は73.6%が肯定的回答をしていました。1・2年生は「進んでしている」という自覚が薄いのだらうと思います。「先生の言うとおり」と素直に取り組んでくれるのはうれしいのですが、「やりたい、やってみたい」という気持ちをどの子にも持たせて取り組むことを大切にしていきます。

【学校は子どもたちの悩みごとや困り感について把握し、相談にのっている】

保護者の80.2%が肯定的回答をしていました。今後も、子どものために家庭と連携していきます。ご家庭で気づかれたことは、遠慮なく学校にお知らせください。

【悩みや困ったことがあるとき、先生や友だちに相談できる】

3～6年生児童の74.9%が、1・2年生児童は86.8%が肯定的回答をしていました。

【困っている友だちがいたら、相談にのったり(話しかけたり)助けたりしている】

3～6年生児童の90.5%が、1・2年生児童は85%が肯定的回答をしていました。

自分のことについてと、友だちのことについて。1・2年生は、この二つの割合が一致しているのですが、3～6年にはギャップがありました。自分は友だちの相談にのるが、自分の相談事は先生や友だちに言い出せない子がいるのです。人のために頑張ってくれているのに、自身はつらい思いを出さずに抱えている。

信頼・信用できる人間関係(※仲間)であれば、つらい思いから解放されます。学校は「仲間づくり」をずっと大事にしてきましたが、この結果を見て、きょう・あすにでも何とかしたいという思いです。しかし、仲間づくりは、共に過ごした時間と内容の積み重ねが根幹ですので、一朝一夕にできるものではありません。それこそ「困っている友だちがいたら助ける」という意識を育てるばかりです。あすは、どのような内容で子どもたちのつながりを作ろうか、日々を大切にしていきます。

1月28日(土)は学校公開日

2限目に1・3・5年生の授業参観を、3限目に2・4・6年生の授業参観を行います。また、5限目にはPTA学級集会が行われます。

保護者のみなさまにおいては、くれぐれも体温や体調をチェックしてから学校へお越しくださいますようお願いいたします。子どもへの感染はもちろんですが、子どもを通じて高齢のご家族への感染を心配します。

当日は、人数が多いぶん十分な換気をするため廊下は寒いですので、暖かい服装でお越しください。